

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを書くことができています。
- 文章の構成を把握したり、文章中の情報と情報の関係について考えたりする力に課題がある。

【算 数】

- 領域「データの活用」において、表やグラフから必要な情報を取り出すことができています。
- 領域「数と計算」「図形」において課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 将来の夢や目標をもっている児童が多い。
- 困っている人を進んで助けている児童が多い。
- ICTの活用に自信をもっている児童が多い。
- SNS使用時間や動画視聴時間が長い児童が多い。
- 「算数の勉強が好きだ」と答える児童の割合が少ない。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・全校での授業改善の推進（個に応じた課題や追究方法を選択する授業）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・表現力の向上に向けた授業改善（考える時間を確保し、書く活動や交流、振り返りといった言語活動を充実させる授業）
- ・家庭学習を含めたスパイラル学習（復習）による基礎学力の定着

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・地域をテーマにした生活科、総合的な学習の時間のカリキュラム化と実施
- ・学級活動や児童会活動の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・算数の楽しさやよさを感じさせるための、「個別最適な学び」や「探究的な学び」の日常化
- ・家庭と連携したノーメディアデーの取組の実施